北上市総合計画 2021~2030 令和5年度基本施策事後評価シート (評価対象期間:令和4年度)

基本方針 2.未来を創る人づくり

関連するプロジェクト

基本施策 2-2.最適な教育環境の構築

2.学びの改革プロジェクト

安全で安心な質の高い教育環境を整備するとともに、社会に開かれた学校づくりを進め、地域全体で子どもたちの学びを支える環境を整えていくため、学校と地域の連携・協働体制を構築します。

評価項目	Α	順調
	В	概ね順調
	С	やや遅れている
目	D	遅れている

総合評価

R5事後 **4**

※達成状況評価欄の()内については昨年度の評価結果です。

	to vi	プロ	,	-1.00)+-M/NG/4/G . D 4)	\+_0.()\=	達成状況分析(上段:指標	に基づくもの 下段:指標以外のもの)	今後の方向性
No.	担当 部等	プロ ジェ クト	推進方針	成果 指標	達成状況(対象:R4) (上段:指標に基づくもの 下段:指標以外のもの)	達成状況 評 価	内部要因	外部要因	今後の方向性 (◇:R5に着手予定・着手済み ◆:R6以降の着手を検討)
1	企画部		市内で生まれ育った子どもたちが住み慣れ 大学等高 等教育機関の設置に向けた研究を進め、市 内での進学の選択肢を増やすとともに、卒 業後は地域産業の担い手として活躍できる 環境整備を図る。	1	近未来政策研究所において、将来のまちづくりを見据え た当市における大学等設置のあり方に関する基礎研究 を行い、次年度への本格研究への道筋をつけた。	A (A)	政策アドバイザーの的確な助言を得ながら調査研究 を進めることができた。		◇調査研究結果を受け、先進地の視察や市内外の企業経営者層を対象としたデマンド調査、外部有識者等への意見聴収を行い、市立大学の設置も見据えた、より詳細な調査検討を進め目指す大学のコンセプトや運営手法のあり方等を具体化する。
2	教育部	•	地域とと 学校と地域が、連携・協働し一体となって もにある 取り組み、持続可能な円滑で効果的な学校 学校づく 運営を推進するため、コミュニティ・スクールを導入する。	2	学校運営協議会の設置に関して、東部4地区の閉校した 小学校以外すべての小中学校で設置した。	(A) (A)	・各地区の特徴を生かしたそれぞれのコミュニティ・スクールの活動ができた。・コミュニティ・スクール等連絡協議会により、年間2回の情報共有を行った。また、市の担当者で、推進検討委員会を持ち、今後の方向性を話し合った。		◇東桜小学校で学校運営協議会を設置する。 ◇年2回のコミュニティ・スクール等連絡協議会を開催し、先行事例等 — を共有することで、更なる推進を図る。
3	教育部		これから の時代に 応じた指 がら適切な指導体制や 導体制や 教育環境 の構築 であるため、 では、多様な教育を受ける機会を保障しな がら適切な指導体制を構築する。また、教 職員の業務改善を図るため勤務内容を把 教育環境 の構築 に取り組む。	3	在校等時間調査における6月の1カ月在校等時間80時間以上職員数について、令和3年度は小中合わせて66人とだったが、令和4年度は45人と減少している。ただ未だに時間外勤務を行っている教員が多く、業務改善が必要である。 コロナ禍にあっても各学校の工夫により、配慮を必要とする児童生徒に対しての支援体制を構築することができた。また、子どもの学びを保障し、工夫して教育活動を推進することができた。	B (c)	・全教職員対象に勤務時間の実態調査を行うとともに、校長会議においてその結果を共有した。・部活動指導員については、人材確保ができず、すべての中学校への配置とはならなかった。 児童生徒の状況や学校運営上の課題を把握し、教職員や市の個別指導支援員、学習支援員を配置できた。		◇勤務時間の実態調査を継続し、各学校、全教職員の教務改善に向けた情報提供や指導を進める。 ◇部活動指導員の任用を進め、中学校の時間外労働の軽減を図る。 ◇学校の運営上の課題を確認しながら、教職員の配置を検討してい <。
4	教育部	•	市の建築物最適化計画等に基づき、各学校の長寿命化や建替えを計画的に進める。また、将来にわたり、子どもたちにとってより良い教育環境を確保し学校教育の充実を教育環境の整備 の整備 をはいるがら小中学校の適正規模化・適正配置を進める。また、生徒の多彩な教育機会を確保するため、市内高等学校の学習環境の充実や持続的な学習機会の確保に対し支援するとともに、高校や大学等に進学する際の奨学金制度を継続する。	4	当初指標に設定してした6校(R2:江釣子中、R3:飯豊中、R4:二子小、R8:黒北小・上野中、R12:飯豊小)のうち、飯豊中は,他施設整備との調整により、R4に実施設計を実施した。 高校や大学等に進学する際の奨学金制度として、大学生等合計78人(内 新規貸与大学生18人)に奨学金を貸与した。	В (в)	市が所有する公共施設全体の整備との調整により、 実施年度が変更となっている。 R2に34名の新規貸与者が、R3及びR4は18名と 半減しており、奨学金に係る市の支援制度に係る周 知が不足している。		◇市の建築物最適化計画は、施設の耐用年数や老朽度により長寿命化時期を設定して計画されているが、計画時期よりも早く児童生徒数が国が示す指針における適正規模以下となる学校も出てきており、当市における適正規模を検討すると共に、必要に応じて長寿命化対象校の追加を検討する。 ◇東陵中学校の北上中学校への統合に向け、令和4年度に北上中学校建替建築基本計画を策定した。同計画を基に設計業務委託プロポーザル選定委員会を開催し、実施設計事業者を選定した。令和8年度の新校舎供用開始に向け、引き続き、学校や地域等との協議を進める。 ◇奨学金制度の効果的な周知を図る。

凡例			— WITHE																	_										
指	標(1)	指	標の説明							指標	2	ŧ	指標の説明		10					指標	3	1	指標の説明		100				
大学等高 関の設置 活動の展	に向けた	だ 設成	《R7目標値:基 設計等設置に関 対(誘致の場合) 、の支援の実施	する総合的 は必要に応じ	施設基本 な計画の完 た事業者	_				学校運営協議会の組 織数		学校運営協議会設置した中学校区の数			5 0 R1 R2 R3 R4 R5 R6 R7				長時間時間外勤務教職 員数		H31.3に策定した北上市教職員働き方改革プランにおいて定めた目標			50 0 R1 R2 R3 R4 R5 R6 R7						
担当部等	等単	位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7
			実績値			調査研究の実施	調査研究の実施			*			実績値	0	2	6	8						実績値	43	39	66	45			
企画部	3		期待値 ※R7は目標値								教育部	組織	期待値 ※R7は目標値	0	1.5	3	4.5	6	7.5	9	教育部	名	期待値 ※R7は目標値	43	35.8	28.7	21.5	14.3	7.2	0
			備考						1		備考							中学校区全て			備考	月80時間以上 勤務職員								
指	標(4	指標の説明			60	l l		'		指 標	⑤	į	指標の説明		,	I.	1			指標	6	1	指標の説明		,	<u>'</u>			
学校施設 <i>の</i> 実施率	D 長寿 命(化 計 (1	比上市建築物 十画期間中の 長寿命化実が 予定校数)	長寿命化実	施率	40 20 0 R1	R2 R		R5 R6																					
担当部等	等 単	位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7
			/ 実績値	16.7	16.7	16.7	33.3						実績値	(-元4八世)									実績値	(死仆॥)						
教育部	3 9	%	期待値 ※R7は目標値	16.7	22.3	27.8	33.4	38.9	44.5	50	1		期待値 ※R7は目標値										期待値 ※R7は目標値							
			備考								-		備考										備考							
指	標(7)	指	標の説明							指 標	8	ł	指標の説明							指 標	9	1	指標の説明						
担当部等			実績値 期待値 ※R7は目標値 備 考	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位	実績値 期待値 ※ R77は目標値 備考	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7
指	標(1			標の説明							12 12	(11)									指標	12		指標の説明						
			<u> </u>								指標			指標の説明																
担当部等	等 単	id		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		指標の説明 R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7
担当部等	等単	位	実績値	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7			実績値	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7		単位	実績値	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
担当部等	等	位	実績値 期待値 ※R7は目標値	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7			実績値 期待値 ※R7は目標値	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7		単位	実績値 期待値 ※R7は目標値	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
		位	実績値 期待値 ※R7は目標値 備 考	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位	実績値 期待値 ※ R. 7 は目標値 備 考	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等		実績値 期待値 ※ R7は目標値 備 考	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	標(位	実績値 期待値 ※R7は目標値 備 考	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7		単位	実績値 期待値 ※ R. 7 は目標値 備 考	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7		単位	実績値 期待値 ※ R7は目標値 備 考	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	標	位	実績値 期待値 ※R7は目標値 備 考	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位	実績値 期待値 ※ R. 7 は目標値 備 考	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等		実績値 期待値 ※ R7は目標値 備 考	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7
指	標	33	実績値 期待値※R7は目標値 備 考 指	R1 (現状値) 標の説明							担当部等	単位	実績値 期待値 ※R7は目標値 備考	R1 (現状値) 指標の説明							担当部等	15	実績値 期待値 ※ R77は目標値 備 考 :	R1 (現状値) 指標の説明						
指	標	33	実績値 期待値 ※R7は目標値 備 考 指	R1 (現状値) 標の説明							担当部等	単位	実績値 期待値 ※ 飛びは目標値 備 考	R1 (現状値) 指標の説明							担当部等	15	実績値 期待値 ※ R 7 は目標値 備 考	R1 (現状値) 指標の説明						